



梅島小だより

『運動会に向けて』

副校長 鯉沼 哲

校庭の木々の葉が少しずつ色づき始め、秋晴れの心地のよい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。あとわずか前期の授業が終了いたします。

子どもたち一人一人が、この半年の学校生活の中で学び身につけた学習の成果や課題を各担任より、通知表を通してお知らせいたします。ぜひ、ご家庭でお子様と一緒にご覧になっていただき、後期の学習に向けての目標を立てるための資料の一つとしていただきたいと思います。

さて、今年度の本校の運動会は、10月28日（土）に実施されます。その運動会に向けて、どの学年も練習が始まりました。

運動会の目的は、たくさんあると思いますが、子どもたちにとっては、紅白のチームに分かれて自分たちのチームが優勝を目指すことが一番の目標です。また、リーダーの育成やチームプレーの大切さ、思いやり、協力、助け合いの心などを育てる場にもなります。しかし、運動会は、当日だけの大きなイベントではありません。

先日、体育館で、4年生の「ソーラン節」の練習をのぞいてみると、先生の動きに合わせてすぐに動きを覚えてしまう子ども、手足の動きが合わない子ども、友達に動き方を確かめてもらっている子どもなど様々な様子を見ることができました。まだ始まったばかりの練習でしたが、どの子の表情にもやる気が映り、子どもたちの頑張りが伝わってきました。

運動会の練習はこれからが本番を迎えます。この練習の中で、私たち教員は、子どもたちに、互いに力を合わせ、心を合わせる心地よさを感じさせたい。「自分も頑張ればできるんだ」という自信をもたせたい。そして、終わった後に子どもたち一人一人に達成感や成就感を味わわせたいと思っています。運動会までの練習こそが子どもたちを育てる大切な時間であると思います。

しかし、この思いを確かなものにするためには、子どもたちが当日の演技を沢山の人に見てもらい、皆から褒められ、認められ励まされることによって確かなものになっていきます。

運動会には、ぜひ、子どもたちの練習の成果をご覧いただき、たくさんの応援をいただきたいと思います。

